

十津川警部「家族」



[十津川警部「家族」_下载链接1_](#)

著者:[日] 西村京太郎

出版者:祥伝社

出版时间:2003-8

装帧:新書

isbn:9784396207670

部下の田中刑事が十津川警部に突如辞表を提出、失踪した。飲酒運転で人を殺め、遺体を奥多摩に埋めたという弟を助けようとしての決断だった。彼の真面目な人間性を知る十津川は懊悩。捜査の進展とともに弟が埋めたはずの遺体が消失、さらに田中家を監視する謎の男や兄弟の犯罪を告発する悪意の手紙までが…。 “家族の絆”とは何かを問う、仰天の傑作推理。

作者介绍:

西村 京太郎（にしむら きょうたろう、1930年9月6日 - ）は、日本の推理作家。トラベルミステリーの第一人者で、十津川警部の生みの親として知られている。本名は矢島 喜八郎（やじま きはちろう）。

東京陸軍幼年学校在学中に終戦を迎え、東京都立電機工業学校（現・東京都立産業技術高等専門学校）卒業後、臨時人事委員会（後の人事院）に就職する。11年勤務後に退職し、私立探偵、警備員などを経て作家生活に入る。

初期は社会派推理小説を書いていたが、じきにスパイ小説、クローズド・サークル、パロディ小説、歴史小説など多彩な作品群を発表する。中でも海難事故もの（これについては西村本人が海が好きだったため。十津川警部は大学ヨット部出身という設定。）、誘拐もの（あらゆる犯罪の中で最も知能を要するので推理小説にふさわしいと考えたから）が多かった。日本中にトラベルミステリーというジャンルを示すきっかけとなったヒット作『寝台特急殺人事件』から全面的にトラベルミステリーに移行する。

列車や観光地を舞台とするトラベルミステリーに属する作品を数多く発表しており、シリーズキャラクターである十津川警部は有名である。多くの作品がテレビドラマ化（『西村京太郎トラベルミステリー』、あるいは『西村京太郎サスペンス・十津川警部シリーズ』など）されている。

西村が考えた鉄道などを使ったトリックやアリバイ工作は、そのリアリティが功を奏し根強い人気がある。近年では納税者ランキングの上位に名を連ねる。

オリジナル著作は2012年3月10日発行の『十津川警部秩父SL・三月二十七日の証言』で500冊に達し、その後も新刊の刊行は続いていて、単行本の累計発行部数は2億部を超える。この数字を記録した作家は、日本では2012年現在、西村と赤川次郎の2人しかいない。なお、彼は30代の前期から作家活動が続けているが、著作の90%以上は50歳を過ぎてから刊行されたものであり、作家としては大器晩成型の部類に属していると言える。

目录:

[十津川警部「家族」 下载链接1](#)

标签

西村京太郎

评论

★★★☆☆西村著作No.349：十津川警部的部下田中刑警无故辞职，心系下属的十津川派人追查隐情，却意外地发现田中家和肇事逃逸案有牵扯。描写田中的篇幅算比较多，在十津川警部一众平常看不太出来个性的属下里，田中在本书里可是享受了至尊待遇。可惜篇幅过半就又开始陷入大物政治家栽赃嫁祸之类的窠臼里去了……这个梗真的请不要一而再再而三地使用。

[十津川警部「家族」_下载链接1](#)

书评

[十津川警部「家族」_下载链接1](#)